

NAPPキックオフイベント 『Mobility&Sustainability』

日 時:4月7日(水)

開催形式:会場(ナゴヤ イノベーターズ ガレージ)
およびオンライン

参 加 者:委員長の佐々木副会長をはじめ
255名

産業・技術委員会は、Plug and Play Japan社との共同企画でNAPPキックオフイベント『Mobility&Sustainability』を開催した。



NAPP(Nagoya Access Point Project)とは

ナゴヤをモビリティ・スタートアップ、イノベーションの拠点として確立することを目指し、年内に以下の2種・5つのイベントを計画するもの。NAPPの命名は、Plug and Play Japan社であるが、目指すものは中経連も同じであり、強力にバックアップしていく。

①NAPPイベント

(Corporate Innovation Session)

ワールドワイドなモビリティ・スタートアップの情報をナゴヤへ提供。テーマを設定して年3回開催予定。

- ・第1回(今回)…「Mobility&Sustainability」
- ・第2回(8月)…「Mobility&Life MaaS」
- ・第3回(12月)…「Mobility&Smart City」

②CENT Pitch(Startup Stage Session)

ナゴヤや中部圏のスタートアップを中心に世界へ発信。年2回開催予定。

- ・第1回(7月14日)…全国の大学発スタートアップを紹介
- ・第2回…計画中

キックオフイベントの概要

NAPPの概要説明に続き、佐々木委員長、伊藤愛知県経済産業局長、難波名古屋市経済局長、河野名古屋大学教授が登壇し、オープニングコメントを行った。



スタートアップのピッチでは、「Mobility&Sustainability」をテーマに次の5社が登壇した。

- ・AZAPA(株)(New Energy/Japan)
超小型モビリティのコンセプトカー「AZAPA-FDS Concept」
- ・(株)エネコートテクノロジーズ(New Energy/Japan)
ペロブスカイト太陽電池の普及拡大を推進
- ・CircularTree(Supply Chain/Germany)
CO₂排出のトレーシングを推進
- ・(株)名城ナノカーボン(New Material/Japan)
カーボンナノチューブ製造法「アーク放電法」適用
- ・Opus12(Carbon Neutral/US)
CO₂排出物を新たな化学製品にリサイクル

委員会事務局より

オンライン主体のため会場は静かなイベントスタートであったが、200名を超える視聴者の熱気は登壇者へ間違いなく届いていた。今後続く4回のイベントも皆様の期待に添えるよう、精一杯努力してまいります。

(産業振興部 黒柳 考司)

第1回税制委員会

日 時：6月2日(水)

開催形式：会場(名古屋栄ビル)およびオンライン

参加者：委員長の伊藤副会長をはじめ25名



本委員会は、会員の期待や立場を反映し、経済社会の発展に資する税制の提言を主たる任務としている。今回は、2020年度の活動報告および2022年度税制改正要望の策定に向けた主要論点について委員と議論を交わした。

委員からは、「コロナ禍で財政赤字は拡大しており、コロナ収束後に震災後の復興特別税のような増税が行われる可能性もある。増税に関しては、経営や生活への影響を考慮し、慎重な議論を重ねてほしい」との声が多く聞かれた。また、「IT全般に関する税制を柔軟に見直し、デジタル化を税制面で後押ししてほしい」「カーボンニュートラルに向けて、研究開発の促進に寄与する税制や、中小企業にとっても活用しやすい税制の整備をお願いしたい」「中部圏へのスタートアップ企業の誘致や雇用拡大など、地域創生に資する税制の要望も引き続きお願いしたい」「印紙税や事業所税など、合理性の低い税制を見直してほしい」など、幅広い分野にわたって意見が出された。

本委員会では、9月上旬の「2022年度税制改正に対する意見」の取りまとめに向け、引き続き検討を進めていく。

(調査部 江崎 誠)

中経連

ダイジェスト

愛知・名古屋国際ネットワーク

5月14日(金)、中経連は、愛知県、名古屋市、名古屋港管理組合、名古屋商工会議所とともに、愛知・名古屋国際ネットワーク(ANNIE: Aichi-Nagoya Network & International Exchange)を名古屋市内の会場およびオンラインで開催。約70名が参加した。

本イベントでは、愛知・名古屋の国際化の進展を図るため、2011年度から毎年、駐日外交官を招き、関係諸国と当地域のネットワークづくりを進めている。今回は、「次世代モビリティ+スタートアップ・イノベーション」をテーマに、この分野で先進的な取り組みを行っているフランス、シンガポール、米国から代表者を招き、県内に主要拠点を置く

スタートアップ企業との意見交換を実施した。

はじめに、主催者代表として大村愛知県知事、河村名古屋市長、山本名古屋商工会議所会頭、水野中経連会長が挨拶を行った。水野会長は、「当地域はモビリティを中心とした企業の世界的な集積地である。多くの大学や研究所も存在し、自治体も積極的に産業支援に参画している。スタートアップ・イノベーションを活発化させ、中部圏の

